

3 意見内容

分類		意見要旨	市の考え(案)	対応
1 地域づくりの目的について	1-1	人口減少社会の到来を見据え、中心市街地の空洞化を防ぐとともに、旧町村の枠組みを活かしながら住み続けられるまちにしていくことが望ましいのではないか。	基本方針(素案)では、「5ページ 5地域づくりの単位となる「対象圏域」において、本市は豊かな地域性などにより、地域の人口や年齢構成が異なるとしています。また、公共施設の整備状況や町会・自治会の加入率等も一様ではなく、地域づくりをすすめるにあたっては、それぞれの地域の実態やニーズを十分に踏まえたうえで検討する必要があるため、地域課題を共有し、合意形成を図り解決していく単位として、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい中学校区を基礎単位としています。 地域で活動する団体や市民とともに、誰もが安心して住み続けたいと感じられる地域づくりを進めていきます。	【施策実施の参考とする】
	1-2	地域づくりの基本は、①中学校区単位での義務教育学校、②福祉拠点、③高齢者あんしん相談センター、④立地適正化計画である。 これらを人口減少に合わせて、どう対応すれば良いのか。	基本方針(素案)では、「2ページ 2本方針の位置づけ」において、「地域福祉計画」や「都市計画マスタープラン」など、あらゆる分野で取り組む計画と連携を図りながら取り組むとしています。 地域づくりを推進する際には、人口や世帯数の推移などを「(仮称)地域カルテ」としてとりまとめながら地域課題を中長期的な視点も含めて設定し、課題解決に向けて取り組んでいきます。	【施策実施の参考とする】
2 地域づくりの単位となる「対象圏域」について	2-1	地域ごとに作成する個別計画について、中学校区を単位に考えることは分かりやすいと考えるが、公立小中学校の通う生徒以外は、地域としての意識が軽薄なのではないか。	基本方針(素案)では、「5ページ 5地域づくりの単位となる「対象圏域」において、地域の拠点となる施設への移動時間などを考慮し、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい中学校区を基礎単位としています。 地域づくりを推進する際には、地域で生活する市民が意見を話し合う「ワークショップ」や検討された内容を発信する「地域フォーラム」などを開催し、多様な市民が参画できるようなしくみづくりを進めていきます。	【施策実施の参考とする】
3 地域づくりの推進に向けた考え方について	3-1	「地域で課題を共有し、主体的に取り組む」前提として、各世代またはそれぞれの立場の住民が困っている事を吸い上げ、それを全体に知らしめる「課題を共有できるしくみ」をつくる必要があるのではないか。このしくみづくりは、「地域づくり推進会議」に任せるべきものではなく、八王子市としての統一性をもつべきではないか。	基本方針(素案)では、「12ページ 7(3)多様な市民が参画するしくみづくり」において、多様な市民が参画できるようなしくみづくりを進めるとしています。 地域づくりを推進する際には、地域で生活する市民が意見を話し合う「ワークショップ」や検討された内容を発信する「地域フォーラム」などを開催し、多様な市民が参画できるようなしくみづくりを進めていきます。また、本市はさまざまな地域性を有しており、対応すべき課題や取組を地域の実情に合わせて行う必要があるため、「(仮称)地域づくり推進会議」を立ち上げ、地域課題の解決に向けて取組を進めていきます。	【施策実施の参考とする】

分類	意見要旨	市の考え(案)	対応
3 地域づくりの推進に向けた考え方について	3-2 各学校運営協議会が平成19年以降どのような意見を教育委員会に述べているのか。また地域の課題をどう考え、どう検討してきたのかについて概要でも構わないので開示してほしい。	基本方針(素案)では、「6ページ 6(2)地域の活動団体との連携」において、地域とともにある学校づくりを推進する学校運営協議会を全ての市立小・中学校に設置し、地域と連携した教育活動の充実を図る取組を進めているとしています。 学校運営協議会については、「地域運営学校事例集」を八王子市ホームページの「暮らしの情報>教育・生涯・学習・スポーツ>学校教育>地域とつながる学校づくり>地域運営学校>学校運営協議会の運営状況」に掲載しております。	【施策実施の参考とする】
	3-3 拠点づくりの整備について、都市戦略課がどのように地域づくりに関わっていくのか。全中学校区に対し、担当者制として地域のファシリテーターとして地域づくりを進めていくのか。	基本方針(素案)では、「13ページ 8庁内における地域づくりに関する体制」において、地域づくりの検討状況や挙げられた地域課題などについて庁内横断的に情報を共有し、担当所管が地域づくりに参画して対応するとしています。	【施策実施の参考とする】
	3-4 (仮称)地域づくり推進会議における議論の進捗の足並みを揃えることが望ましいが、そのためには会議運営を円滑にする必要がある。参加者・参加団体には議論の素地となる情報を適切に提供するとともに、進行を補助するコーディネーター的な役割を担う事務局員を配置する必要があるのではないか。	基本方針(素案)では、「13ページ 8庁内における地域づくりに関する体制」において、地域づくりの検討状況や挙げられた地域課題などについて庁内横断的に情報を共有し、担当所管が地域づくりに参画して対応するとしています。	【施策実施の参考とする】
	3-5 八王子市は長所をアピールすることが上手いと感じるが、課題を的確にとらえ、解決策を見出し、実践に結びつけることは苦手ではないかと感じる。 八王子市は地の利もよくて、便利に住める市なので、油断せず変革の道を進んでもらいたい。	基本方針(素案)では、「9ページ 7(2)地域課題の解決に向けた計画づくり」において、地域ごとに歴史や文化、現状などを(仮称)地域カルテとしてとりまとめながら参加者で共有し、解決すべき地域課題を設定するとしています。 地域づくりを推進する際には、地域課題の解決を目指す「地域別推進計画」を作成し、課題解決に向けて取り組んでいきます。	【施策実施の参考とする】
	3-6 八王子市はとても広く、山間部と駅前までは住んでいる人や状況が全く違うため、推進会議を立ち上げ、計画を作るといった同じやり方をするのではなく、地域に入って市民の声を聞きながら地域づくりを行った方がいいのではないか。	基本方針(素案)では、「5ページ 5地域づくりの単位となる「対象圏域」において、本市は豊かな地域性などにより、地域の人口や年齢構成が異なるとしています。また、公共施設の整備状況や町会・自治会の加入率等も一様ではなく、地域づくりをすすめるにあたっては、それぞれの地域の実態やニーズを十分に踏まえたうえで検討する必要があるため、地域課題を共有し、合意形成を図り解決していく単位として中学校区を基礎単位としています。 地域づくりを進める際には、地域の实情に合わせて「(仮称)地域づくり推進会議」を立ち上げ、地域の立地や歴史・文化、人口や世帯数の推移、施設の配置などの概要を整理し、(仮称)地域カルテとしてとりまとめながら、地域課題の解決を目指すための「地域別推進計画」を作成していきます。	【施策実施の参考とする】

分類	意見要旨	市の考え(案)	対応
4 地域活動の拠点づくりについて	<p>4-1 長房中学校及び船田小学校、長房小学校が一体となり、子どもの教育を推進する小中一貫校の実現に向けて要望する。</p> <p>長房中学校区の小中一貫校(義務教育学校)が実現することにより、安全で安心して暮らすことができる長房地域を目指す。</p>	<p>基本方針(素案)では、「10 ページ ソフト・ハードの一体的な検討」において、学校施設の再編における①適正配置、②老朽化対応、③施設の複合化の3つの視点から、学校を公共施設などとの複合化を図る際には、地域コミュニティの拠点となるように整備し、義務教育学校制度の導入も視野に入れた小中一体型への整備も検討するとしています。</p> <p>学校施設を含む公共施設の再編は地域との合意形成を図りながら進めていきます。</p>	【施策実施の参考とする】
	<p>4-2 学校施設を複合化する際には、子ども達が安全安心に過ごせるための対策を検討したかどうか。</p>	<p>基本方針(素案)では、「10 ページ ソフト・ハードの一体的な検討」において、学校施設は地域コミュニティの拠点としての役割を担っているため、地域との合意形成を図りながら再編を進める必要があるとしています。</p> <p>地域活動拠点として学校施設を検討する際には、子ども達の安全対策は重要な視点であるため、地域との合意形成を図りながら再編を進めるとともに、基本方針に学校施設の安全対策に関する内容を追記します。</p>	【記載内容を充実】
	<p>4-3 学校施設が中心にない中学校区もあるため、学校施設以外の複合化も検討する必要があるのではないか。</p>	<p>基本方針(素案)の「24 ページ 2 中学校区別公共施設配置図」に記載があるとおり、学校施設の配置は中学校区ごとに異なります。</p> <p>地域活動の拠点づくりについて検討する際には、主に日常生活圏域内になる施設の再編とともに、複合化についても検討を進めていきます。</p>	【施策実施の参考とする】
	<p>4-4 地域で活動できる拠点が無いとの声をよく聞きます。市民センターなどが利益目的でも使えるようになれば、個人の活動の場を広げられることで、地域づくりにもつながり、他団体との連携により様々な可能性を見出せるのではないか。</p>	<p>基本方針(素案)では、「10 ページ ソフト・ハードの一体的な検討」において、計画づくりでは、地域課題の解決に向けて活動を担う人・組織づくりなどのソフト施策とともに、地域活動拠点の整備などのハード施策も一体的に検討を進めるとしています。</p> <p>地域活動拠点については、公共施設の再編とともに、地域の実情に合わせて検討を進めていきます。</p>	【施策実施の参考とする】
	<p>4-5 地域活動の拠点づくりの一環として、企業や大学の一部、学校の体育館や音楽室等を地域のために使用できるような取り組みを進めてほしい。(同意見が2件)</p>	<p>基本方針(素案)では、「9 ページ 7 (2) 地域課題の解決に向けた計画づくり」において、解決に向けて取り組む上で必要となる地域活動拠点を、公共施設の再編とともに検討するとしています。</p> <p>地域活動拠点について検討する際には、公共施設の再編を含め地域の実情に合わせて検討していきます。また、民間施設の利用は重要な視点であるため、基本方針に内容を追記します。</p>	【記載内容を充実】

分類	意見要旨	市の考え(案)	対応
5 多様な市民が参画するしくみづくりについて	5-1 多摩ニュータウン地区で地域づくりに関する考え方を検討する際には、地域活性化を視野に入れる必要があるのではないかと。また、この地域はマンションが多いため、マンションの管理組合との連携も考慮した方が良いのではないかと。	基本方針(素案)では、「8ページ 7(1)地域づくりの推進に向けた体制づくり」において、町会・自治会をはじめ、学校運営協議会や民生委員児童委員協議会、青少年対策地区委員会などとともに、「(仮称)地域づくり推進会議」を立ち上げるとしています。 地域づくりを推進する際には、マンションに居住している方を含め、多様な市民が地域づくりに参画できるしくみづくりを進めていきます。また、地域活性化については、「(仮称)地域づくり推進会議」の中で検討していきます。	【施策実施の参考とする】
	5-2 多摩ニュータウン地区はマンションが多く立地しており、地域としての認識が薄く、各家庭が各々独立して行動しているため、今後、このような地域でどう進めていくのか。	基本方針(素案)では、「12ページ 7(3)多様な市民が参画するしくみづくり」において、多様な市民が地域づくりに参画できるようしくみづくりを進めるとしています。 地域づくりを推進する際には、地域で生活する市民が意見を話し合う「ワークショップ」や検討された内容を発信する「地域フォーラム」などを開催し、地域づくりの機運の醸成を図ります。	【施策実施の参考とする】
	5-3 学校運営協議会委員となり、4年目となる。地域づくりを進めるにあたり、私の住んでいる地域ほど難しい所はないと感じる。自治会は存在せず、分譲の団地はその中での活動のみ、地域としてのまとまりはない。災害が起らなければ暮らしやすい所と言えるが、小学生が同じ団地内で別の公立小学校に通うと、情報把握の把握ができない。	基本方針(素案)では、「8ページ 7(1)地域づくりの推進に向けた体制づくり」において、地域づくりに関わる活動団体や市民とともに地域の現状などを把握し、地域課題を解決する手法などを検討するため、「(仮称)地域づくり推進会議」を立ち上げます。なお、立ち上げにおいては、地域づくりを行う既存団体を母体とするなど、地域の実情に合わせた会議体とするとしています。 地域づくりを推進する際には、地域で生活する市民が意見を話し合う「ワークショップ」や検討された内容を発信する「地域フォーラム」などを開催し、多様な市民が地域づくりに参画できるしくみづくりを進めていきます。	【施策実施の参考とする】
	5-4 地域の活動団体は、設置の目的や活動頻度、活動地域も異なることから、推進会議を開催するにあたっては、参加者や各団体が参加しやすい体制を整えることが必要ではないかと。	基本方針(素案)では、「7(3)多様な市民が参画するしくみづくり」において、多様な市民が参画できるようしくみづくりを進めるとしています。 地域づくりを推進する際には、ワークショップや地域フォーラムなどを開催し、検討された内容の発信や情報共有を行いながら、多様な市民が地域づくりに参画しやすいしくみづくりを進めていきます。	【施策実施の参考とする】
	5-5 地域づくりを進めるうえで、これからの時代を担う若者や現役世代が参加できるようにすべきではないかと。また地域コミュニティでは、ダイバーシティの考え方が注目されており、さまざまな方からの意見も取り入れるべきではないかと。	基本方針(素案)では、「8ページ 7(1)地域づくり推進に向けた体制づくり」において、地域に「思い」をもつ市民や活動団体、そして子どもから高齢者、学生、外国人、障害者など、多様な市民が地域づくりに参画できるよう取り組むとしています。 若者や現役世代などのさまざまな方の意見を反映できるよう取り組んでいきます。	【施策実施の参考とする】

分類		意見要旨	市の考え（案）	対応
5 多様な市民が参画するしくみづくりについて	5-6	各中学校区（高校・大学等）の生徒会役員が集まり、問題点や5年・10年後にこんな街になってもらいたい、そのために自分達ができる事、大人のできる事などを話し合い、大人になってもこの街に住みたいと思えるような街になれば良いと思う。	基本方針（素案）では、「8ページ 7（1）地域づくり推進に向けた体制づくり」において、地域に「想い」をもつ市民や活動団体、そして子どもから高齢者、学生、外国人、障害者など、多様な市民が地域づくりに参画できるよう取り組むとしています。 若者や現役世代などのさまざまな方の意見を反映できるよう取り組んでいきます。	【施策実施の参考とする】
6 その他について	6-1	高齢者が安心して歳をとれる町を目指して、今一層の市民の努力が必要であり、余力のある高齢者が力不足の高齢者を支えるしくみを更に活性化することが望ましいと考え、フレイルチェック講座の実施や健康づくりサポーターとフレイル予防運動の一本化などについて提案する。	いただいたご意見を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。	【担当所管に報告】
	6-2	西八王子駅周辺は利便性が良いとは感じられない。世帯人口を増やすためにどうするかを優先的に考え、災害時における行政の役割も視野に入れながら、再開発をすすめるよう願う。	いただいたご意見を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。	【担当所管に報告】
	6-3	自転車は通勤、通学、買い物等便利な交通手段となっており、歩行は健康増進にもつながることから、歩行者も自転車利用者も安心して利用できる道を提供し、八王子市を安心して歩ける街にしてほしい。	いただいたご意見を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。	【担当所管に報告】
	6-4	災害対策として10年または20年計画で市内全ての電柱の地下移設を実施し、災害に強く、安心していつまでも暮らしていける街づくりを希望する。	いただいたご意見を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。	【担当所管に報告】